

広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想



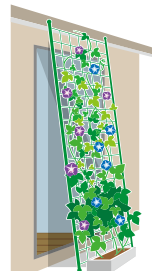
●田原市地球温暖化対策実行計画

田原市では「田原市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定し、温室効果ガス（二酸化炭素）の削減に取り組んでいきます。2022年を目標とし、家庭や事業所などから排出される二酸化炭素の量の削減に努めます。



◆私にできるエコライフってなんだろう

まずは、考えることが第一歩です。小さなことでも、みんなで今日から取り組めば地球の未来は変わります。



緑のカーテンで室内気温を下げる。



ゴミを資源・エネルギーとして再利用する。

公共交通機関を使う。

田原市は、市民一人ひとりが環境に配慮したエコライフを実践するとともに、あらゆる活動を通して地球温暖化対策に努め、環境との共生による豊かで持続するまちづくりを推進していきますので、ご協力をお願いします。

●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人2047人・事業所85カ所(7月末現在)

▼エコエネ推進課

☎23局7401 FAX23局0180

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

環境戦隊たはらエコレンジャー

14

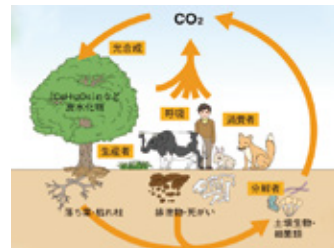


ゴミゴミとリサイクルレンジャー

今回は、2010年に名古屋で開催されたCOP10(生物多様性条約第10回締約国会議)をきっかけに、テレビのニュースなどで取り上げられるようになった「生物多様性」についてご紹介します。

◆生物多様性とは？

現在、地球上には3000万種もの生きものが暮らしているといわれています。それら互いに食べたり食べられたり、大きな生き物が死ぬと微生物に分解されたりしながら、網の目のように関係しています。生き物それぞれがもっている個性とながりを「生物多様性」といいます。



◆生物多様性と私たちの暮らし

私たちの暮らしは、多様な生態系の恵みによって支えられています。米、野菜、魚、肉などの食料や、

住宅や家具などの材料となっている木材も、すべて農林水産業を通じて生き物からもたらされる恵みです。

◆生物多様性の危機

私たちは人間は、過去数百年の間に桁違いのスピードで、実に多くの生き物を絶滅させてきました。このままの状況が続けば、生態系は回復不可能な状態に達し、私たち人間の暮らしも、維持できなくなってしまうといわれています。

◆生物多様性の保全に向けた取組

今、生物多様性の保全に向けた取組が始まっています。その一つが「生態系ネットワーク」の形成で、開発などにより分断されてしまった生態系を、生き物の中継地となる緑地や水辺を整備することで回復させようとする試みです。

生物多様性を保全・回復するためには、みんながその考え方を理解し協力していくことが大切です。

▼環境衛生課

☎23局3541 FAX23局0180

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>